

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587038901	科目番号 / Subject code	05870389
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (ことばの世界)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山本 建雄		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山本 建雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山本 建雄		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟34		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部623		
担当教員TEL/Tel	819-2300		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本文化についての理解を、日本語の理解と表現の学習を通して、より広く、より深くするのが、本授業のねらいである。		
授業到達目標/Goal	日本語の基礎的なことについて、幅広く確かな理解ができる。 日本語の音声表現について、資料に即し、確かな理解ができる。 日本語の文字表現について、資料に即し、確かな理解ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式を中心に、演習形式のものも交える。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	日本語、理解、表現、言語資料		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	毎回の資料は、そのつど担当者が用意する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5回程度、各回の授業内容の応用的理解に関わる小テストを実施する。これに加え、最終の16回目に、これまでの授業を通して学びえたことを総合して取り組むべき課題を用意し、最終試験とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	日本語の理解と表現に興味と関心をもっていること。		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回の授業内容に関係した発展的な読書を希望する。お勧めの図書については、そのつど紹介をする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	日本語の表記		
第2回	日本語の文法		
第3回	日本語の語彙		
第4回	日本語の論理		
第5回	日本語の敬語法		
第6回	方言と共通語		
第7回	対話と討論		
第8回	話芸		
第9回	歌謡曲		
第10回	手紙		
第11回	俳句、短歌		
第12回	物語、小説		
第13回	評論		
第14回	報道文		
第15回	総括		
第16回	試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587039301	科目番号 / Subject code	05870393
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (人間と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永田 聖二		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	永田 聖二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	永田 聖二		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	医歯工環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	seiji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 本館6F 612号室		
担当教員TEL/Tel	819-2310		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜 限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標/Goal	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	稲田 献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験100%		
学生へのメッセージ/Message for students	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的知識があれば、理解の助けになる。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	経済学の課題と対象		
第2回	流通過程と重商主義思想1		
第3回	流通過程と重商主義思想2		
第4回	アダム・スミスと国富		
第5回	アダム・スミスと生産過程		
第6回	リカードウと労働価値説		
第7回	リカードウと分配の経済学		
第8回	リカードウと賃金論		
第9回	リカードウと地代論		
第10回	マルクスと価値形態論		
第11回	レオンティエフと産業連関分析1		
第12回	レオンティエフと産業連関分析2		
第13回	スラッファと価格方程式1		
第14回	スラッファと価格方程式2		
第15回	ケインズと有効需要の原理		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587039701	科目番号 / Subject code	05870397
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (暮らしと科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	及川 大地		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	及川 大地		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	及川 大地		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	LACSメールを使用		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 食物学研究室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	適宜事前にアポイントを取る		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	私たちの「食生活」の事項を問題点も踏まえて科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Goal	自ら「食生活」に関する事項を科学的視点で捉える意識を身に付け、問題点を解決するための考え方やスキルを身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	本講義は一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。基本的には複数回の講義の後、暮らし(食生活)に関する科学的テーマについて各班で背景、事象、問題点を抽出しながら、課題解決を試み、Power Point にまとめ発表してもらいます。講義では質疑応答を多く用います。		
授業内容/Class outline/Con	全16回開講のうち、前半は4回の講義の後、2回の参加学習、2回の発表、1回試験を実施します。後半は、2回の講義の後、2回の参加学習、2回発表、1回試験を行います。ただし、受講人数によって発表日数を減らし、講義内容に変更する場合があります。		
キーワード/Key word	日常生活の食(食品・栄養・食品衛生)、食環境、健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料は、LACSに掲載したものを各自必ず印刷してきてください。LACS内の資料は紙媒体で配布しません。 追加資料は適宜配布します。 <参考書> (興味のある学生のみ下記を購入してみてください。) 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品学」 辻英明・小西洋太郎 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「基礎栄養学」 木戸康博・中坊幸弘 編 講談社サイエンティフィック 栄養科学シリーズ NEXT 「食品衛生学」 増田邦義・植木幸英 編		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価方法 試験：40点 発表：40点 参加・体験学習・質疑応答の取り組み：20点 <要注意> 16回開講で 6回以上 欠席した者は失格とする。 成績評価基準 「試験」「発表」および「参加・体験学習・質疑応答の取り組み」で評価し、合計が60点以上を合格とします。		

受講要件（履修条件）/Requirements	本内容に興味のある学生。 暮らしに潜む科学的事象を少しでも解明したい学生。 自ら考え、疑問を持ち、まとめ、発表する努力を行う学生。
学生へのメッセージ/Message for students	暮らしの中の食に関して、日ごろから興味を持ち、科学的に考える意識を持ってください。
授業計画詳細	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 暮らしの中の科学（食生活の科学）
第2回	食品の栄養素
第3回	エネルギーになる栄養素・塩分の摂取
第4回	バターの科学
第5回	前半 参加学習
第6回	前半 参加学習
第7回	前半 発表 1日目
第8回	前半 発表 2日目
第9回	前半 試験
第10回	食中毒
第11回	食品の保存法
第12回	後半 参加学習
第13回	後半 参加学習
第14回	後半 発表 1日目
第15回	後半 発表 2日目
第16回	後半 試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587040101	科目番号 / Subject code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (数と自然)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	島袋 修		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	島袋 修		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	島袋 修		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部棟310号室		
担当教員TEL/Tel	2318		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:10		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標/Goal	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。(1,3,7,11,12,13) ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。(1,2,7) 合同式の計算ができるようになる。(3,7) 分数、小数、無理数について性質を理解し、証明できる。(3,9,11,12,13) 連分数展開ができるようになる。(7)		
授業方法(学習指導法)/Method	講義と演習を並行して行う。演習は前に出て問題を解いてもらう。		
授業内容/Class outline/Con	16回 定期試験		
キーワード/Key word	整数、素数、分数、小数、無理数、連分数展開		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はLACSで配布する。 毎回の講義ノートをしっかりつくること。 参考書として高校数学の教科書があるとよい。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点。 60点以上が合格。 平常点は随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	授業外学習に当てるべき時間:週平均2時間以上		
学生へのメッセージ/Message for students	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業で扱った内容に対応した練習問題を各自で探し、解いてみる。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	記号について・集合		
第2回	自然数と整数		
第3回	素数と素因数分解		
第4回	素因数分解		
第5回	合同式		
第6回	孫子の剰余定理		
第7回	分数		
第8回	小数		

第9回	無理数
第10回	実数
第11回	連分数展開
第12回	指数
第13回	対数
第14回	まとめ 1
第15回	まとめ 2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587040501	科目番号 / Subject code	05870405
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (音楽)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮下 茂		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮下 茂		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宮下 茂		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日12:50~14:20他(詳しくは研究室前掲示参照)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	モジュール で修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Goal	モジュール で身につけた、芸術の理解・表現を深めること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	声楽曲及びオペラ作品に関する講義と鑑賞、声楽実技に関する講義と実技(歌唱)を行う。声楽実技では、独唱を行うこともある。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	声楽、オペラ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する。 参考: 歌唱芸術(白水社)、ドイツ歌曲の歴史(音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽(ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ(西東社)、絶対!うまくなる合唱100のコツ(ヤマハミュージックメディア)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回提出の授業レポートの評価(90%)、歌唱(独唱)の実技への取り組み(10%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	季節の歌~春 + 歌唱法入門1(発声の理論と実践)		
第2回	季節の歌~春 + 歌唱法入門2(発声の理論と実践)		
第3回	歌曲の歴史 ~ 導入~日本の歌曲(西洋音楽)の歴史 + 歌唱法入門3(発声の理論と実践)		
第4回	歌曲の歴史 ~ 日本の歌曲(西洋音楽)の歴史 + 歌唱法入門4(発声の理論と実践)		
第5回	詩と音楽の出会い ~ ドイツ歌曲の歴史 + 歌唱法入門5(発声の理論と実践)		
第6回	歌、歌曲、オペラ、声楽...声楽ジャンルについて + 歌唱法入門6(発声の理論と実践)		
第7回	歌、歌曲、オペラ、声楽...声楽ジャンルについて + 歌唱法入門7(発声の理論と実践)		
第8回	詩と音楽の出会い ~ ドイツ語と音楽 + 歌唱法入門8(発声の理論と実践)		
第9回	詩と音楽の出会い ~ 詩と音楽 + 歌唱法入門9(発声の理論と実践)		
第10回	文学的意味と音楽的表現 ~ 言葉と旋律について + 歌唱法入門10(発声の理論と実践)		
第11回	文学的意味と音楽的表現 ~ 音楽的手法の意味について + 歌唱法入門11(発声の理論と実践)		
第12回	文学的意味と音楽的表現 ~ 音楽的手法の意味について + 歌唱法入門12(発声の理論と実践)		
第13回	文学的意味と音楽的表現 ~ 音楽的手法の意味について + 歌唱法入門13(発声の理論と実践)		
第14回	ロマン派~「さすらい」について + 歌唱法入門14(発声の理論と実践)		
第15回	音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」 + 歌唱法入門15(発声の理論と実践)		
第16回	全授業の総括		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587040901	科目番号 / Subject code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代の教養 (美術)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	針貝 綾		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	針貝 綾		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	針貝 綾		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	aharikai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部美術棟 針貝研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜 5校時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業は美術史の入門となる授業です。ルネサンス時代の巨匠たちの絵画・彫刻作品を通して、美術に対する関心と理解を深めます。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品を観察し、客観的に記述できる。 ・作品の記述に基づき、作品を分析することができる。 ・美術史の基礎的な知識である様式や美術家、表現技法等について説明できる。 		
授業方法(学習指導法) / Method	時系列に作品を鑑賞しながら、モチーフの意味や表現方法、作者の制作意図、社会的背景等について解説を加えていきます。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	美術史、西洋、ルネサンス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	高階秀爾『西洋美術史』美術出版社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内の作品記述及び感想(30%)、定期試験(70%)により総合的に評価します。		
学生へのメッセージ / Message for students	美術館や博物館等に出かけて実作品を見るなど、日ごろから美術に親しむ機会を作ってください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イタリア初期ルネサンス絵画 マザッチオ《三位一体》		
第2回	イタリア初期ルネサンス絵画 フラ・アンジェリコ《受胎告知》		
第3回	イタリア初期ルネサンス絵画 フラ・アンジェリコ《キリストへの嘲笑》		
第4回	イタリア初期ルネサンス絵画 ボッティチェリ《春》		
第5回	イタリア初期ルネサンス絵画 ボッティチェリ《ヴィーナスの誕生》		
第6回	イタリア盛期ルネサンス絵画 ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》		
第7回	イタリア盛期ルネサンス絵画 ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》		
第8回	イタリア盛期ルネサンス彫刻 ミケランジェロ《ピエタ》と《ダヴィデ》		
第9回	イタリア盛期ルネサンス彫刻 ミケランジェロのメディチ礼拝堂彫刻		
第10回	イタリア盛期ルネサンス絵画 ミケランジェロのシスティーナ礼拝堂天井画		
第11回	イタリア盛期ルネサンス絵画 ラファエロ《アテネの学堂》		
第12回	北方ルネサンス絵画 デューラーの自画像		
第13回	北方ルネサンス絵画 デューラーの銅版画《メレンコリアI》		
第14回	北方ルネサンス絵画 ホルバインの肖像画1		
第15回	北方ルネサンス絵画 ホルバインの肖像画2		
第16回	試験		